
2018年7月期 決算説明会

包装システムのトータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社



証券コード: 6267

目次

- I. セグメントと事業環境
- II. 2018年7月期決算概況
- III. 中期経営計画ならびに
2019年7月期業績見通し
- IV. 経営戦略の主な取組み状況
- V. 参考資料

セグメント別事業概要

包装機械

主要品目

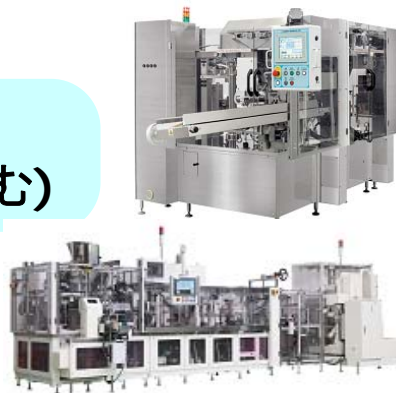
包装機から包装システムまで

・袋詰用包装機

給袋自動包装機
(ガス充填自動包装機含む)

製袋自動包装機

・包装関連機器等



ゼネラルパッカー

(7月決算)

蘇州日技通用包装機械(中国)

ロボット応用システムの仕入

その他関係会社; FAMS(安川電機子会社)

(※2018年8月1日付 ワイ・イー・データからの会社分割により、資本業務提携及び商品取引等の関係は、FAMSへ承継されました)

生産機械

主要品目

機器からプラントまで

・製菓機械

チョコレート製造機械



オサ機械

2016/9月子会社化

(7月決算)

2016/3月設立

※12月決算

連結決算対象 : 7月-6月

連結上必要な調整を行っています。



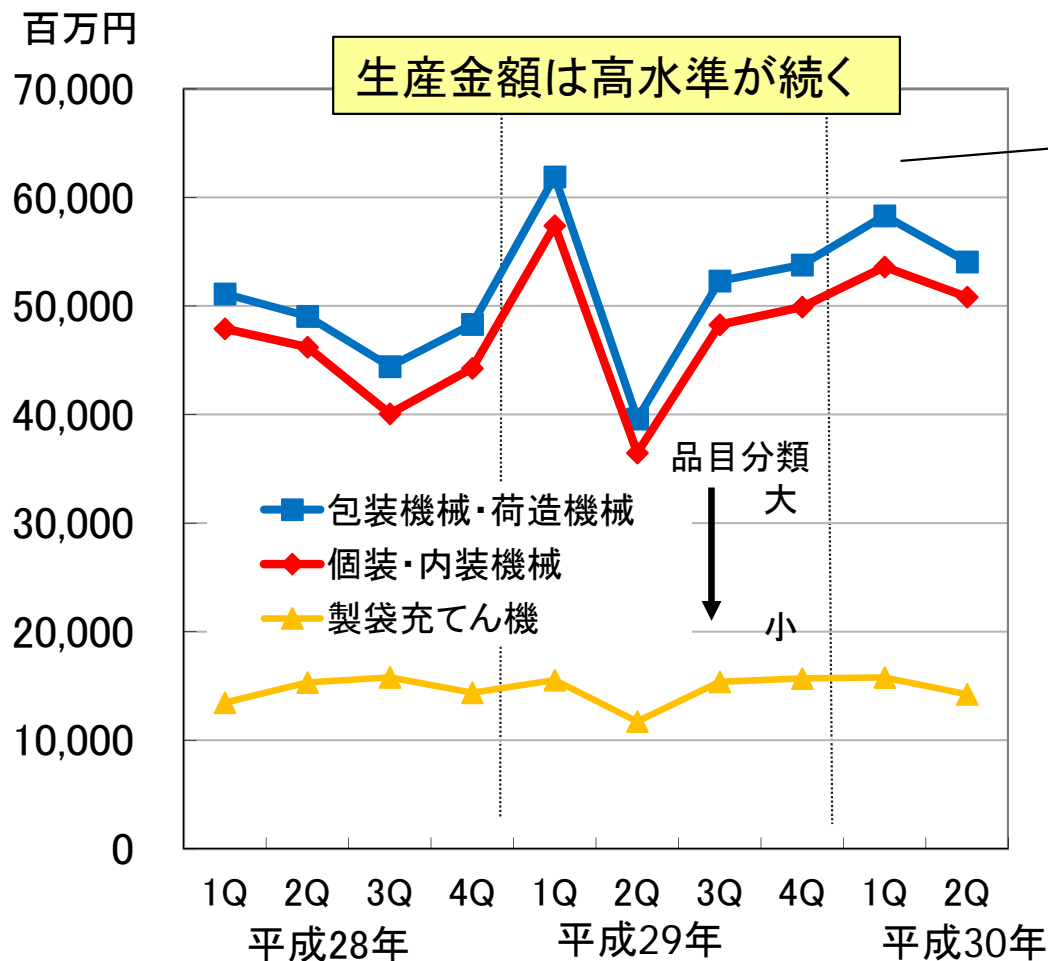
<事業内容>

野菜自動生産システム、食品自動化装置

事業環境 - 包装機械

経産省 生産動態統計より、当社作成
「包装機械及び荷造機械の生産金額推移」
(平成28年1Q～平成30年2Q)

※1Q;1～3月、4Q;10～12月



<包装機械業界>

- 国内の包装機械需要は堅調に推移
- 平成29年度の輸出高は、6年連続でプラス

平成30年上半期計	生産金額
全体	前年同期比10.7%増
個装・内装機械	前年同期比11.3%増
製袋充てん機	前年同期比10.0%増

当社の主要対象市場

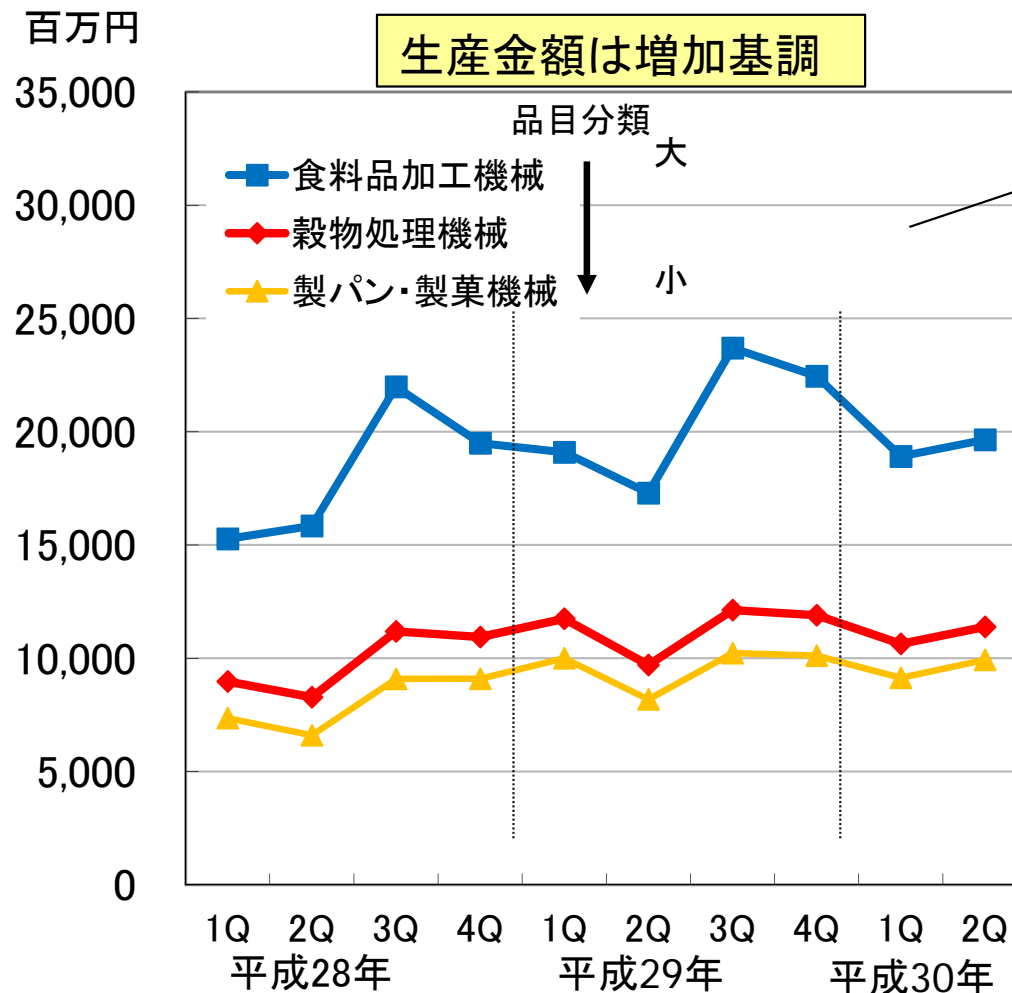
<当社の動向>

- 国内市場では、食品業界向けが堅調に推移し、機械受注高は、前期を上回る。
- 海外市場では、ペットフード向けの増加により、機械受注高は、前期を上回る。

事業環境－食品機械

経産省 生産動態統計より、当社作成
「食料品加工機械の生産金額推移」
(平成28年1Q～平成30年2Q)

※1Q;1～3月、4Q;10～12月



＜食品機械業界＞

- 国内の食品機械需要は増加基調
- 輸出は、アジア地区向けが回復基調で推移

平成30年上半期計 生産金額
 全体 前年同期比5.9%増
 穀物処理機械 前年同期比2.7%増
 製パン・製菓機械 前年同期比4.8%増

当社子会社の主要対象市場

＜当社子会社の動向＞

チョコレート製造機械の専門メーカー

- 国内菓子メーカーの工場新設、設備増設など、大型の設備投資需要があり
- 大型プラントの受注が確保できたことから、機械受注高は、前期を大幅に上回る。

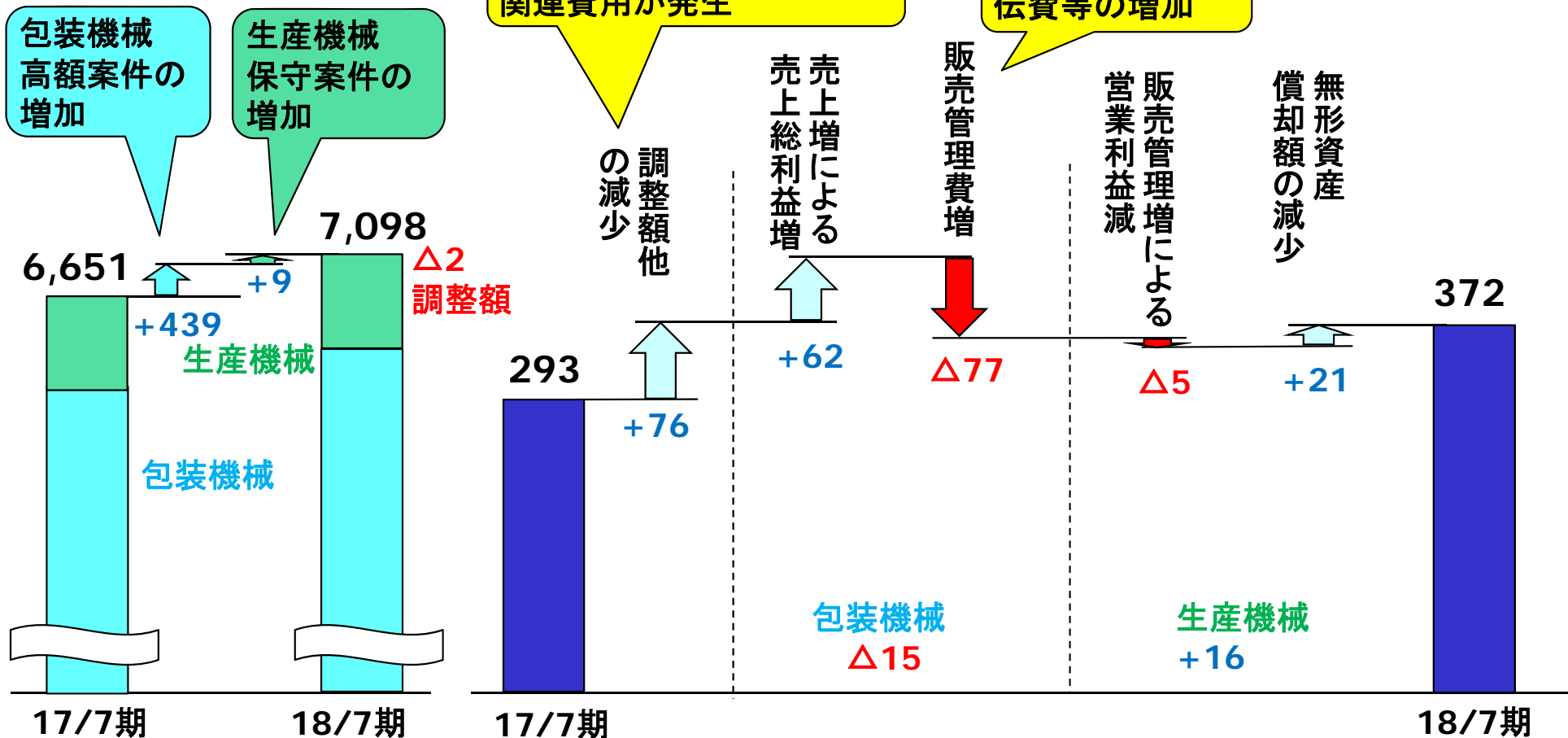
Ⅱ. 2018年7月期 決算概況

2018年7月期 決算のポイント

売上高
446百万円の増収

営業利益増減要因(前期比) 78百万円の増益

(単位:百万円)



業績期初予想比; 398百万円増収、13百万円増益

2018年7月期 連結決算概要

(単位:百万円、%)

	2017年7月期		2018年7月期		前期比		2018年7月期 期初計画		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率	金額	計画比	率
売上高	6,651	100.0	7,098	100.0	+446	+6.7	6,700	+398	+5.9
売上総利益	1,730	26.0	1,807	25.5	+76	+4.4	1,826	△18	△1.0
営業利益	293	4.4	372	5.2	+78	+26.6	358	+13	+3.8
経常利益	297	4.5	376	5.3	+79	+26.6	360	+16	+4.6
当期純利益	188	2.8	260	3.7	+71	+37.9	240	+20	+8.5

前期比:増収・増益

- 売上総利益は、増収により、前期比76百万円増加。
売上総利益率は、包装機械の利益率低下により、前期から低下。
- 営業利益率は、前期比0.8ポイント改善し5.2%。
- 経常利益は、計画を上回り、前期比79百万円増益。
- 当期純利益は、計画を上回り、前期比71百万円増益。

セグメント別業績概要

(単位:百万円、%)

	2017年7月期 ※1		2018年7月期		前期比		2018年7月期 期初計画		
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率	金額	計画比	率
売上高	6,651		7,098		+446	+6.7	6,700	+398	+5.9
包装機械	5,724		6,163		+439	+7.7	5,900	+263	+4.5
生産機械	927		936		+9	+1.0	800	+136	+17.1
※2 調整額	—		△2		△2	—	—	—	—
営業利益	293	4.4	372	5.3	+78	+26.6	358	+13	+3.8
包装機械	370	6.5	354	5.8	△15	△4.1	353	+1	+0.5
生産機械	△0	—	16	1.8	+16	—	5	+11	+203.3
調整額	△75	—	0	—	+76	—	—	—	—

※1 生産機械;2017年7月期 9月-7月 11ヶ月累計。

※2 セグメント間の内部売上高の調整。

【包装機械】 増収・減益、利益率が低下。計画を達成

【生産機械】 増収・増益、無形固定資産(のれん・技術資産等)の償却にて、利益率1.8%。
計画に対して増益

【営業利益 調整額】 2017年7月期 企業結合に係る取得関連費用
2018年7月期 セグメント間取引の消去(613千円)

セグメント別売上内訳

(単位: 百万円、%)

	2017年7月期 ※1	2018年7月期	前期比増減		2018年7月期 期初計画
			金額	率	
包装機械	5,724	6,163	+439	+7.7	5,900
給袋自動包装機	3,221	3,794	+573	+17.8	3,360
製袋自動包装機	234	109	△125	△53.5	212
包装関連機器等	785	1,017	+232	+29.6	1,027
保守消耗部品その他	1,482	1,242	△240	△16.2	1,300
生産機械	927	936	+9	1.0	800
製菓機械	792	763	△28	△3.7	665
保守消耗部品その他	134	173	+38	+28.7	135
合計	6,651	※2 7,098	446	+6.7	6,400

※1 生産機械; 2017年7月期 9月-7月 11ヶ月累計。

※2 合計は、セグメント間の内部売上高の調整後。

【包装機械】

◇高価格機種及び大型システムの実績が増加

【生産機械】

◇保守消耗部品が増加

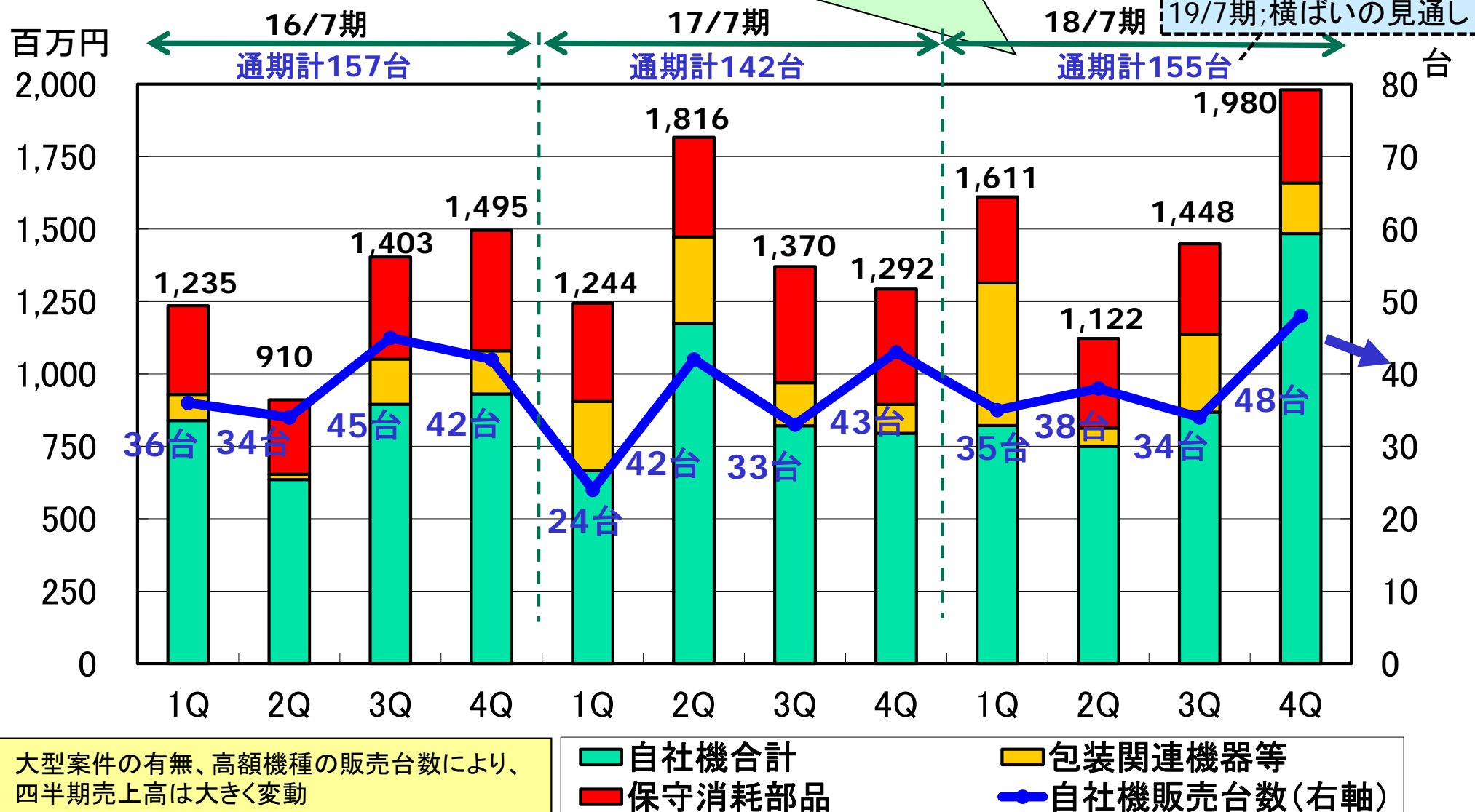
【包装機械】 四半期売上高推移

18/7実績

自社機販売台数 前期比+13台

自社機売上高 前期比+448百万円

※(給袋自動包装機<ガス充填自動包装機含む>、製袋自動包装機の合計)



【包装機械】エンドユーザー業種別機械売上高

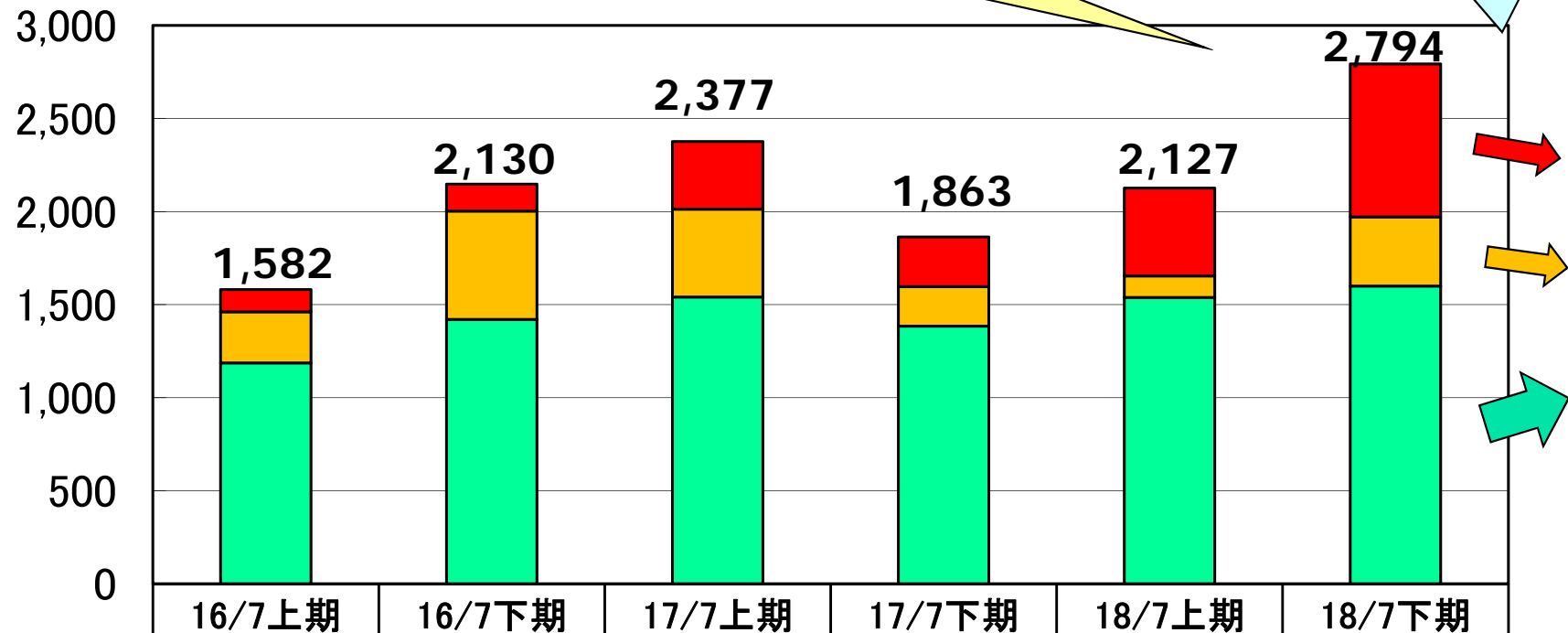
食品業界・その他の増加により、機械売上高は前期比16.0%増

<化学関連業界>
医療分野、健康食品等
<その他>
ペットフード、種苗等

18/7期実績
食品業界 前期比 7.3%増
化学関連業界 前期比 28.8%減
その他 前期比105.7%増

19/7上期見通し(18/7下期比)
食品は増加するが、
全体で減少の見通し

百万円



	16/7上期	16/7下期	17/7上期	17/7下期	18/7上期	18/7下期
■ その他	120	145	363	266	472	822
■ 化学関連業界	274	582	472	213	116	371
■ 食品業界	1,187	1,420	1,541	1,384	1,538	1,600

【包装機械】国内/海外市場別機械売上高

(エンユーザー市場)

19/7上期(18/7下期比)
 ・国内市場 横ばいの見通し
 ・海外市場 減少の見通し

百万円

3,000

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0

18/7期実績

国内市場 3,526百万円 前期比+308百万円

海外市場 1,395百万円 前期比+372百万円

2,377

2,130

1,582

1,863

2,127

2,794

16/7上期

16/7下期

17/7上期

17/7下期

18/7上期

18/7下期

■ 海外市場	62	379	735	287	515	879
■ 国内市場	1,519	1,751	1,641	1,576	1,611	1,914
▲ 海外向け台数	5	18	14	14	14	20

(自社機)

(注)16/7期は単体、17/7期以降は連結決算

【包装機械】海外市場 インターユーザー地域別実績

※ 自社機台数

海外納入実績(16/7期～18/7期)

欧州 <ポーランド・フランス・ロシア>

17/7期 1台

18/7期 2台

アジア—ASEAN 除く
<中国・韓国・台湾・
オーストラリア含む>

16/7期 6台

17/7期 11台

18/7期 16台

ASEAN <タイ・ベトナム・
フィリピン・インドネシア>

16/7期 16台

17/7期 13台

18/7期 11台

北米・南米 <アメリカ・
ブラジル・アルゼンチン>

16/7期 1台

17/7期 3台

18/7期 5台

<19/7上期予定>

ポーランド、ロシア、ベトナム、インドネシア、中国 等

【包装機械】機械の受注動向

<19/7上期計画>

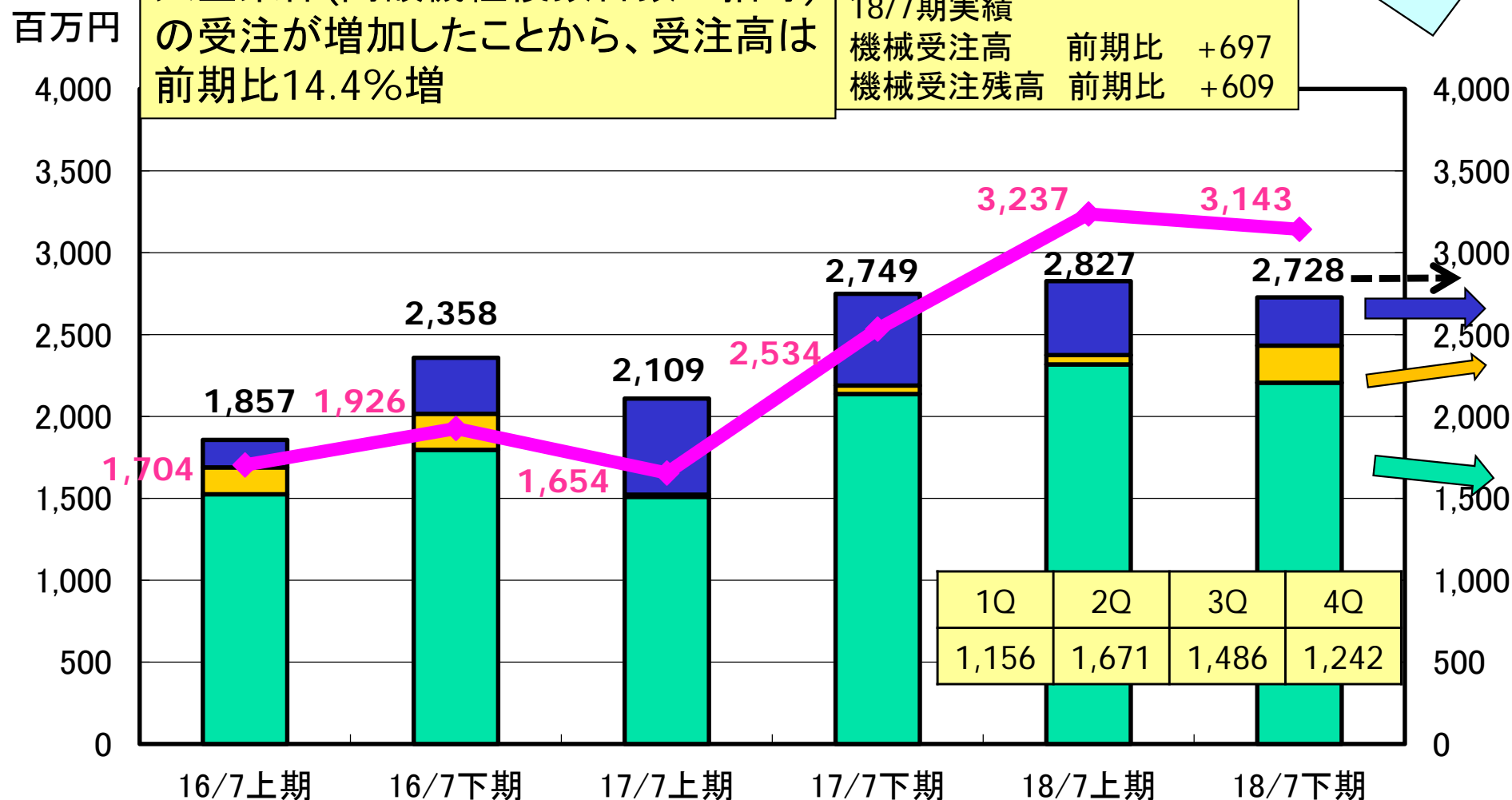
高額案件の増加で、高水準の受注高を目指す

大型案件(高額機種複数台数一括等)の受注が増加したことから、受注高は前期比14.4%増

18/7期実績

機械受注高 前期比 +697

機械受注残高 前期比 +609



給袋自動包装機

製袋自動包装機

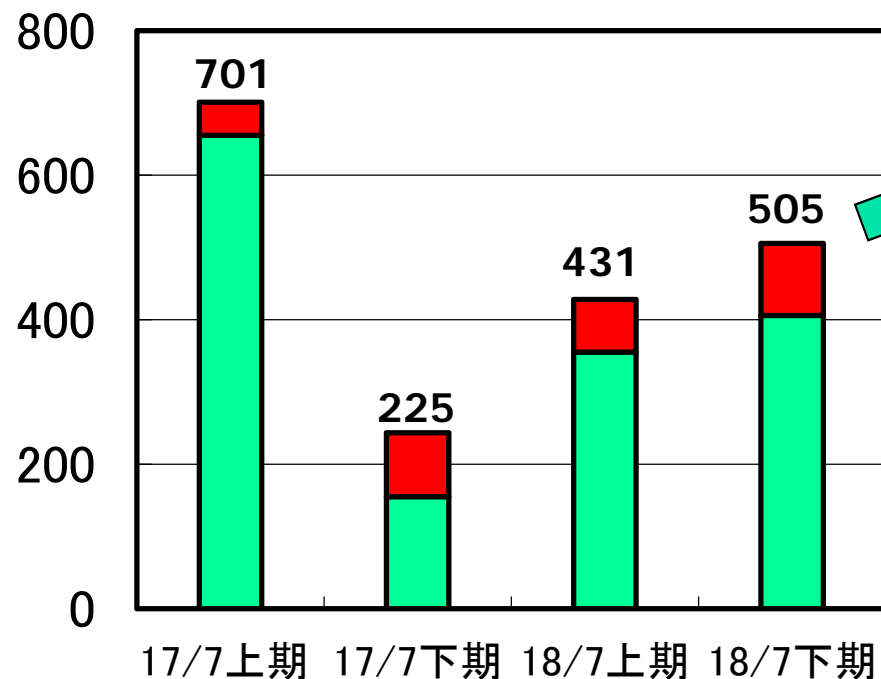
包装関連機器等

期末受注残高(右軸)

【生産機械】 売上高の動向

保守案件の増加により、売上高は前期比1.0%増

百万円



18/7実績

製菓機械 前期比 $\Delta 28$

・機械売上件数は、増加
(小額機器の台数が増加)

保守消耗部品 前期比 +38

19/7上期(18/7下期比)
機械が増加の見通し

■ 製菓機械

■ 保守消耗部品

大型プラントの有無、高額案件の件数により、半期売上高は大きく変動

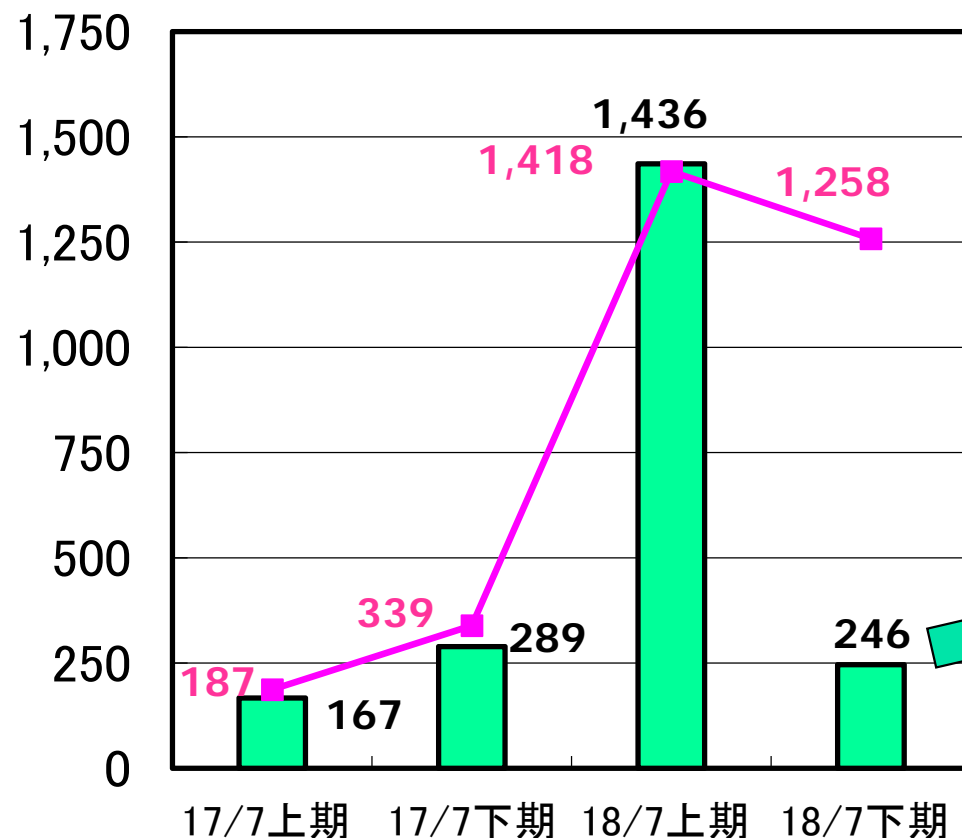
※17/7上期

9-1月 5ヶ月累計

【生産機械】 機械の受注動向

大型プラントの受注により、大幅に増加

百万円



■ 受注高 ■ 期末受注残高

18/7実績

機械受注高 前期比 +1,226

機械受注残高 前期比 +919

海外市場 1件(日系海外工場)

四半期受注高

第1Q 1,167 第3Q 123

第2Q 269 第4Q 122

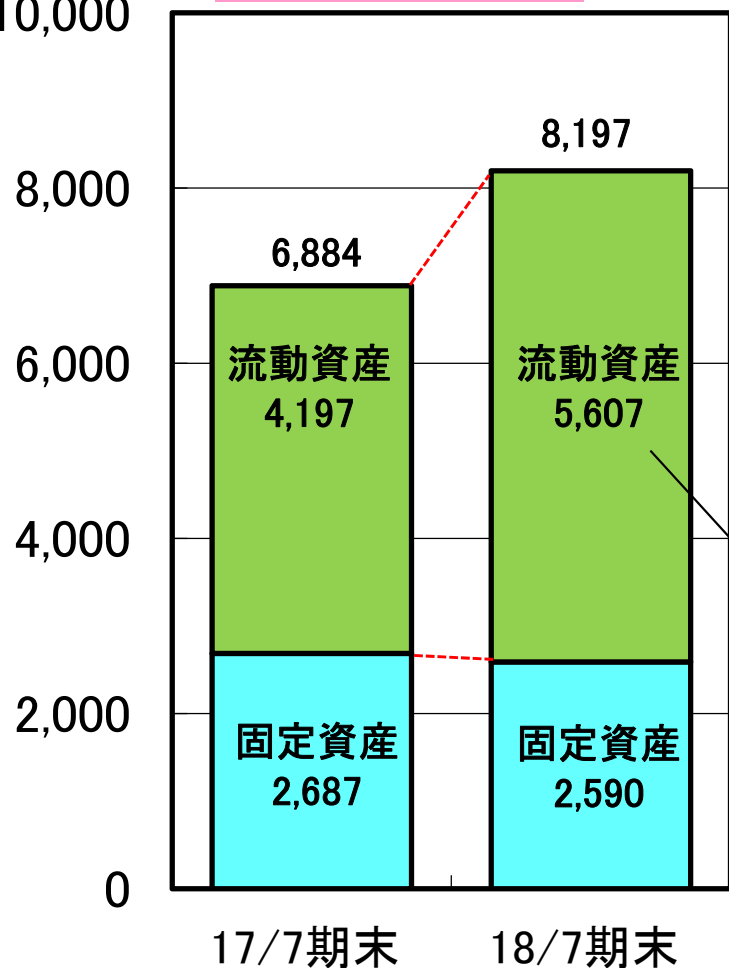
<19/7上期計画>
高額案件の件数増加を
目指す

※17/7上期
9-1月 5ヶ月累計

連結B/S 概況

百万円
10,000

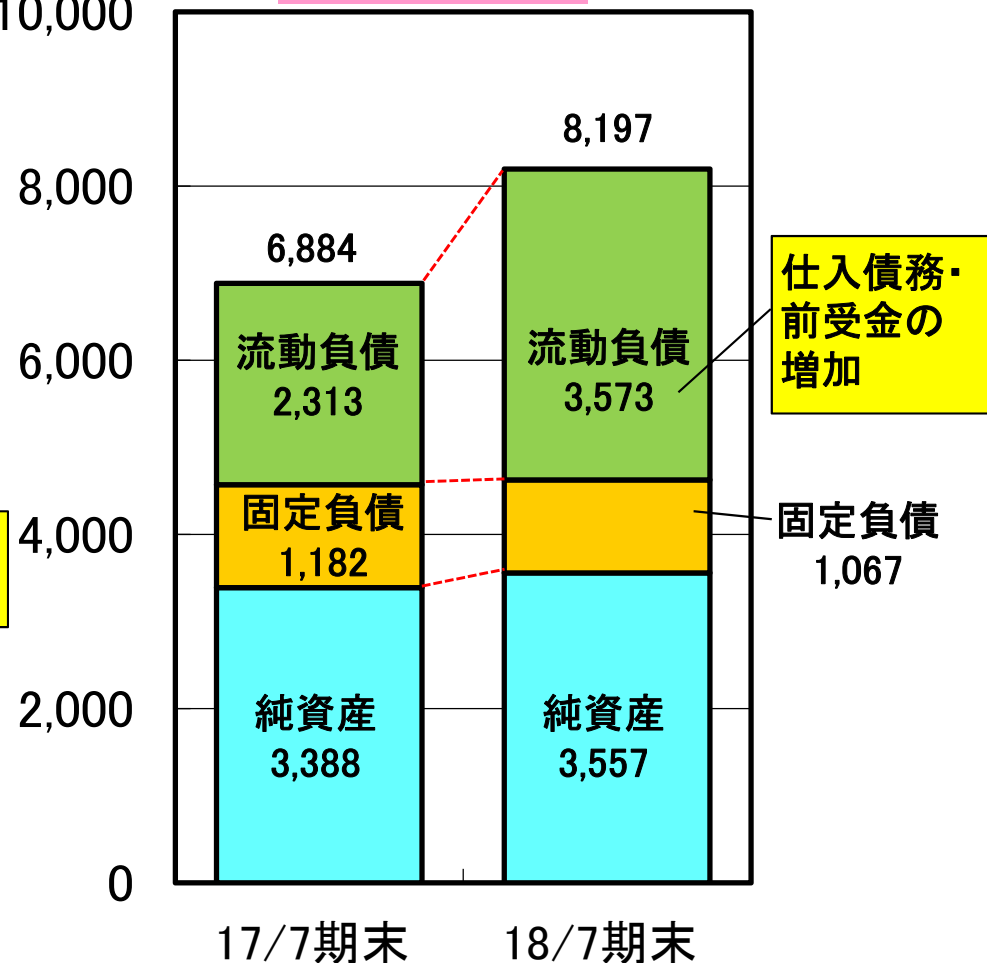
資産



棚卸資産の増加

百万円
10,000

負債純資産



仕入債務・前受金の増加

固定負債

自己資本比率; 49.2% 43.4%

Ⅲ. 中期経営計画ならびに 2019年7月期業績見通し

第5次中期経営計画(2018年7月期～2020年7月期)

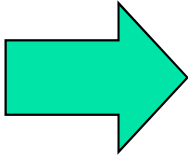
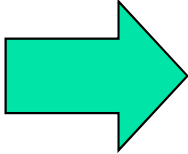
◆中期経営ビジョン

連結グループの基礎固めから成長基盤構築の時期

1. 世界に選ばれ、信頼されるGPグループ
2. オープンイノベーションで応えるソリューションカンパニー
3. 挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

◆中期数値目標

第4次中計実績

■連結経営目標	17/7期実績		20/7期目標
売上高経常利益率	4.5%		6.0%以上
ROA(総資産経常利益率)	4.3%		6.0%以上
ROE(自己資本当期純利益率)	5.6%		8.0%以上
■連結業績目標	17/7期実績		20/7期目標
売上高	6,651百万円		7,700百万円
経常利益	297百万円		475百万円
当期純利益	188百万円		320百万円

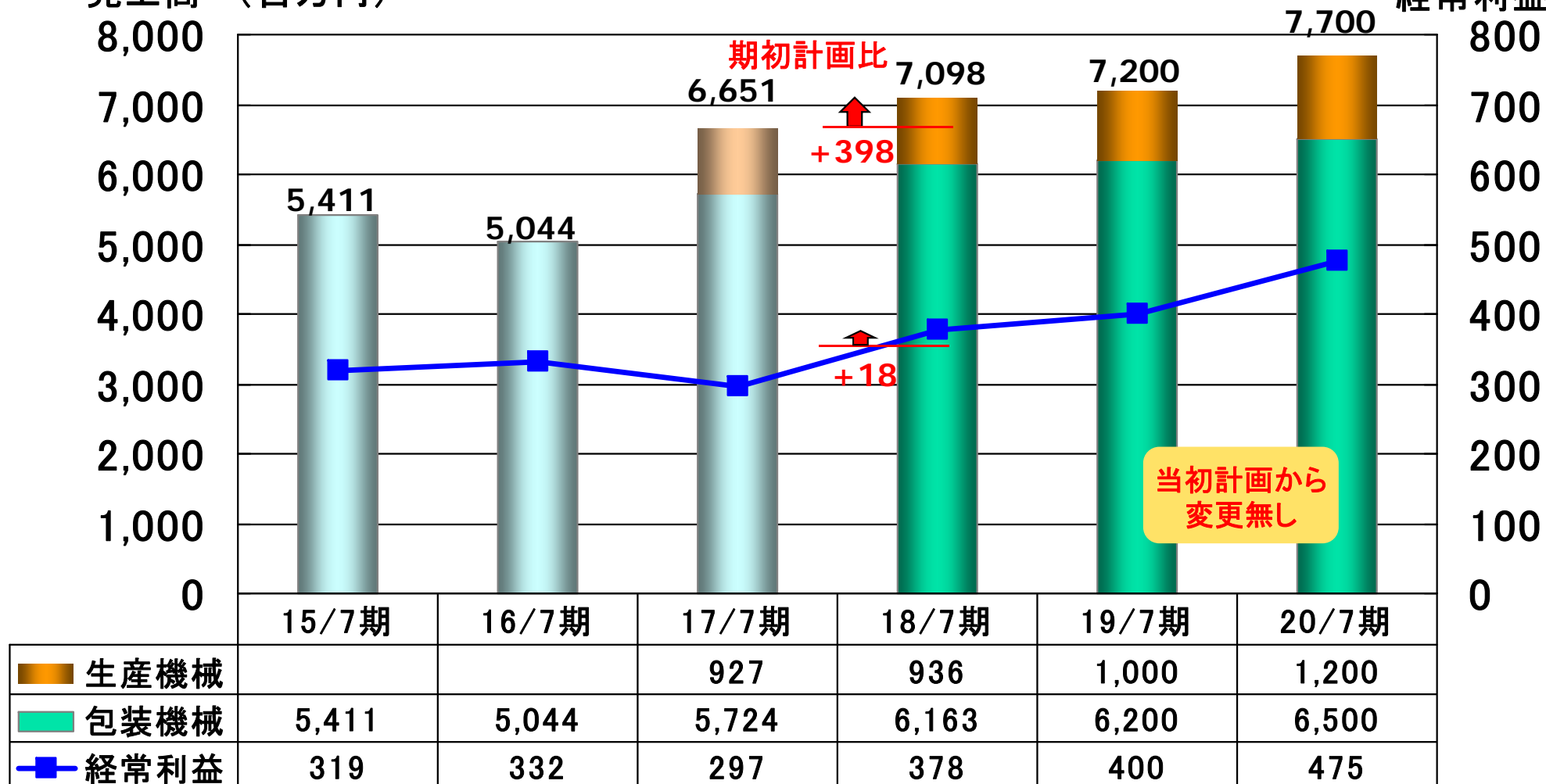
業績計画

最終期(20/7期)の数値については、事業環境と業績動向を踏まえて、ローリングする場合あり

利益率の向上と収益の拡大に注力

売上高 (百万円)

経常利益



← 第5次計画 →

※2015年7月期から2016年7月期までは単体、2017年7月期以降は連結決算となっております。

事業計画モデル(第5次中計)

売上高(単位:百万円)	17/7期実績	18/7期実績	19/7期計画	20/7期計画
		(期初計画比)		
【包装機械】	5,724	6,163 (+263)	6,200	6,500
内;国内市場(機械)	3,218	3,526 (+426)	3,300	3,400
内;海外市場(機械)	1,022	1,395 (Δ105)	1,600	1,800
【生産機械】	927	936 (+136)	1,000	1,200
内;製菓機械	792	763 (+98)	860	1,055
合 計	6,651	7,098 (+398)	7,200	7,700

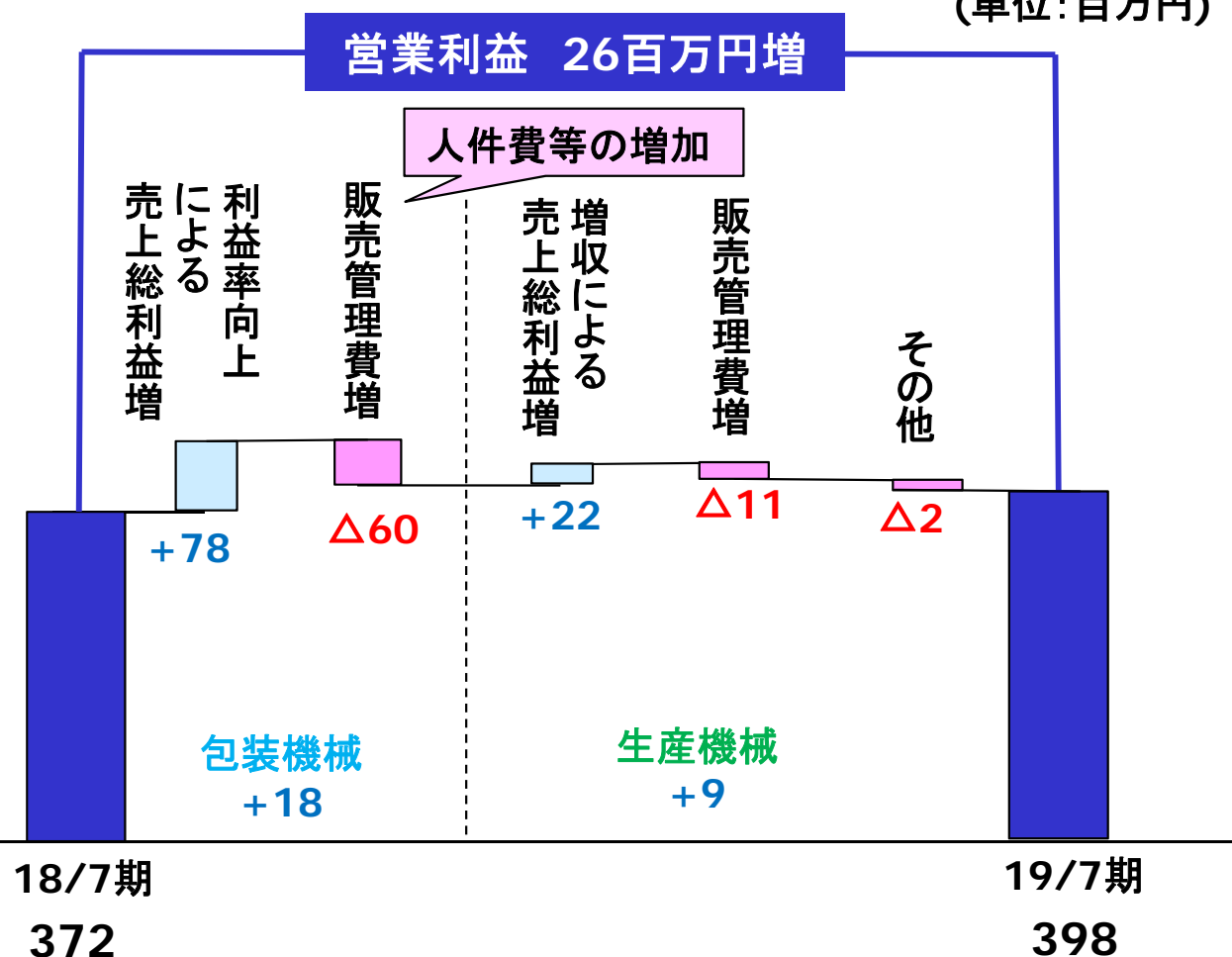
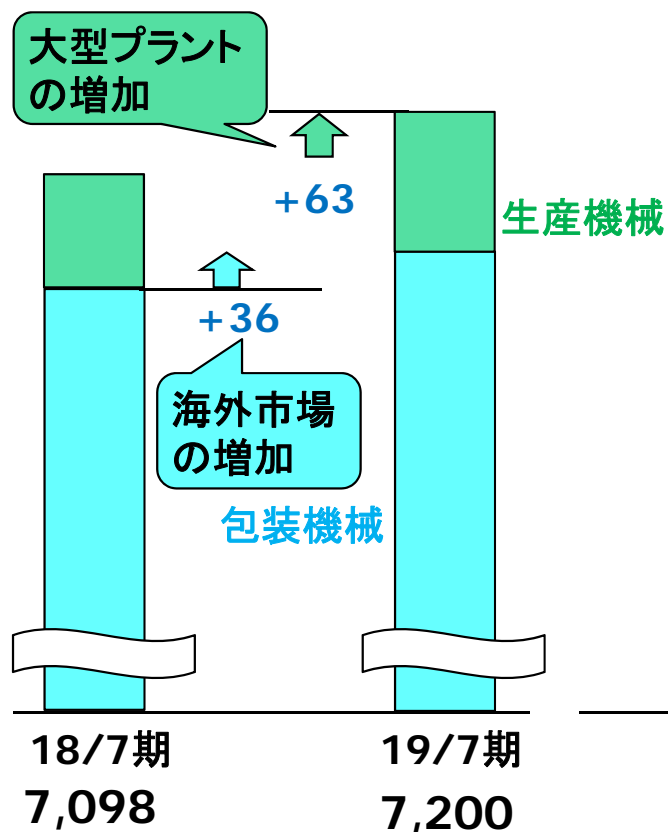
2019年7月期 連結業績見通し(概要)

売上高
101百万円の増収

包装機械・生産機械ともに増加、
増収・増益の見通し

上期 前年同期比+637
下期 前年同期比△535

(単位:百万円)



2019年7月期連結業績予想

(単位:百万円、%)

	2018年7月期		2019年7月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	7,098	100.0	7,200	100.0	+101	+1.4
売上総利益	1,807	25.5	1,908	26.5	+100	+5.6
営業利益	372	5.2	398	5.5	+26	+7.2
経常利益	376	5.3	400	5.6	+23	+6.2
当期純利益	260	3.7	270	3.8	+9	+3.7

増収・増益

- 売上高は前期比1.4%増の72億円を見込む
- 売上総利益率は、前期比1ポイント改善し26.5%
- 営業利益率は、前期比0.3ポイント改善し5.5%
- 経常利益は、前期比23百万円増の400百万円を計画
- 当期純利益は、前期比9百万円増

2019年7月期セグメント別業績予想

(単位:百万円、%)

	2018年7月期		2019年7月期		前期比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率
売上高	7,098		7,200		+101	+1.4
包装機械	6,163		6,200		+36	+0.6
生産機械	936		1,000		+63	+6.7
調整額	△2	—	—	—	+2	—
営業利益	372	5.3	398	5.5	+26	+7.2
包装機械	354	5.8	373	6.0	+18	+5.1
生産機械	16	1.8	25	2.5	+9	+50.4
調整額	0	—	—	—	△0	—

※ 調整額;セグメント間取引の調整

【包装機械】 増収・増益、利益率は前期比0.2ポイント改善

【生産機械】 増収・増益、利益率は前期比0.7ポイント改善

2019年7月期セグメント別売上内訳予想 (単位:百万円、%)

	2018年7月期		2019年7月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
包装機械	6,163	86.8	6,200	86.1	+36	+0.6
給袋自動包装機	3,794	53.5	3,779	52.5	△15	△0.4
製袋自動包装機	109	1.5	594	8.3	+484	+444.5
包装関連機器等	1,017	14.3	527	7.3	△490	△48.2
保守消耗部品その他	1,242	17.5	1,300	18.0	+57	+4.6
生産機械	936	13.2	1,000	13.9	+63	+6.7
製菓機械	763	10.8	860	11.9	+96	+12.6
保守消耗部品その他	173	2.4	140	2.0	△33	△19.2
合計	7,098	100.0	7,200	100.0	+101	+1.4

前期比：+101百万円、+1.4%

【包装機械】 保守消耗部品の増加により、増収

◇機械計(自動包装機+包装関連機器等)は微減、大型システムが減少

【生産機械】 大型プラントの増加により、増収

株主還元

中期配当政策

- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

	2016/7期 (非連結)	2017/7期 (連結)	2018/7期 (連結)	2019/7期予想 (連結)
中間配当 ※	17.50円	20.00円	20.00円	20.00円
期末配当 ※	27.00円	20.00円	24.00円	25.00円
年間配当 ※	44.50円	40.00円	44.00円	45.00円
当期純利益／株 ※	130.63円	106.27円	146.87円	152.88円
配当性向	34.1%	37.6%	30.0%	29.4%
DOE	2.5%	2.1%	2.2%	2.1%

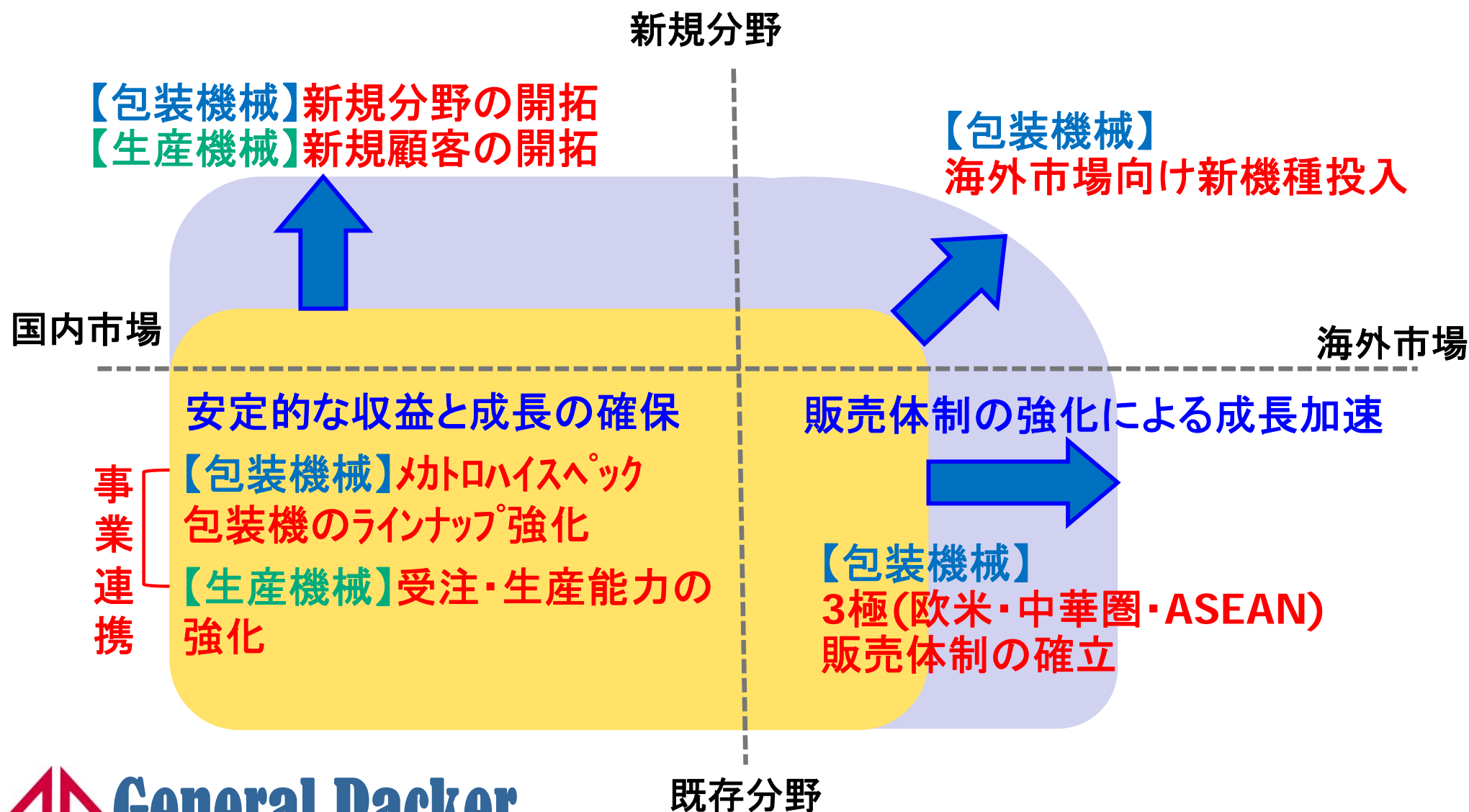
※2016年2月1日付で、5株につき1株の株式併合を実施

配当、当期純利益/株は、株式併合を考慮した数値に遡及修正しています。

IV. 経営戦略の主な取組み状況

基本戦略

「さらなる成長に向けて海外事業の拡大を目指す」



基本戦略

- ①包装機械と生産機械の事業連携により、国内市場で安定的な収益と成長を確保する
- ②販売体制を強化し、海外市場向け売上高比率20%以上を目指す
- ③世界の包装ニーズにワンストップで応え、ソリューションビジネスのさらなる拡大を図る
- ④メカトロハイスペック包装機シリーズの商品開発を強化する
- ⑤生産機械から包装機械まで一貫したシステムとサービスの提供で、顧客満足度を得る
- ⑥開発力強化と事業領域拡大のためのアライアンスを推進する

【包装機械】販売戦略

国内市場; 安定的な収益と成長の確保

■メカトロハイスペック包装機の拡販

- ・高機能給袋自動包装機 GP-M3000型
受注は好調に推移
- ・シリーズ機種の販売開始 GP-M3550型 (高速充填包装)
18/7期 受注実績 1台 (他、海外市場 2台)

■自社包装機受注

18/7期 受注高 32.2億円(前期比 6.9億円増)
受注台数 125台(前期比 4台増)

19/7期

- 拡販を強化
- 新機種の投入

ソリューションビジネスの拡大

■新規納入先の開拓

18/7期 受注実績6社

■高額システム(30百万円以上)の受注実績



■販売促進活動
袋供給ロボットを展示会
に出品

- ・中部パック(18/4月)
- ・FOOMA(18/6月)

	16/7期	17/7期	18/7期
受注件数	4件	11件	6件
業種	食品(2件)、 健康食品(2件)	食品(9件)、化学(1件)、 医療(1件)	食品(5件) 医療(1件)

内2件; システムの一部は、
ロボット応用システムを納入

【包装機械】販売戦略

海外事業の拡大

- 中国子会社; 蘇州日技通用包装机械有限公司 (中国・常熟市) (16/3月設立)

18/7期 売上高 2.2億円

- 販売体制の強化

・既存代理店(6社)の販売支援



19/7期; 新規代理店の開拓

(中国、インド等)

代理店活用によるアメリカ・中国市場の開拓強化

- 自社包装機受注 (単体)

18/7期 受注高 14.9億円(前期比 3.7億円増)

受注台数 42台(前期比 7台増)

- 新規顧客開拓の受注実績 (エンドユーザー)

16/7期	17/7期	18/7期
10社 (内1社 4カ国一括) 台湾、中国、タイ、 ベトナム、フィリピン	11社 タイ、ベトナム、中国、 オーストラリア、アメリカ、韓国	13社 タイ、台湾、中国、ベトナム、 インドネシア、アメリカ

【包装機械】開発・技術戦略

■開発テーマ <第5次中計>

- ①メカトロハイスペック包装機と海外市場向け新機種の開発
- ②コア技術の強化
- ③特定ユーザー・業種のニーズに対応した新機種の開発 等

19/7期
シリーズ開発を
強化

■新機種開発

メカトロハイスペック包装機のシリーズ開発

18/7期

GP-M3550型(同調ジョーゴ搭載高速充填包装) 18/4月完成

GP-M3000型(UL仕様;アメリカ規格) 18/7月完成

⇒アメリカ展示会(シゴパック;18/10月)へ出品



GP-M3550

業種ニーズに対応した新機種の開発

18/7期 大袋用新バージョンの開発 18/5月完成

小袋用新機種の開発 18/9月完成予定

【生産機械】

受注体制と新規顧客開拓の強化

■ 受注活動

- ・大型プラントの受注確保
18/7期 4件(1社)



19/7期;大型プラントの製造、納入
生産体制の強化

■ 包装機械との事業連携

- ・包装機械展示会へ共同出展
- ・親会社営業と情報共有、同行訪問
18/7期 売上実績 1件(機器)

■ 新規開拓

18/7期 受注実績 6件



中部パック(18/4月)
ジャパンパック(17/10月)

内部管理体制の強化

- 親会社と会計システムの統一化と運用スタート
- 人材確保・育成 等

V. 參考資料

包装機械業界

単位:億円

機種別	生産高
個装・内装機械	3,583
包装用計量機	253
充てん機	446
びん詰機械	602
製袋充てん機	688
真空包装機	113
その他	1,480
外装・荷造機械	711
ケース詰機	174
その他	537
合 計	4,295

主な上場企業
 専業メーカー:東京自動機械製作所
 兼業メーカー:CKD、渋谷工業 等

需要先別構成比
 ・食品部門 52.2%
 ・化学部門 16.6%
 ・その他 19.0%
 ・輸出 12.2%

袋詰用包装機

当社の主力包装機の区分

前年度比
 5.2%増
 7年連続増

(一社)日本包装機械工業会
 「包装機械及び荷造機械生産高統計」
 2016年度実績

当社:包装機械の専業メーカー
 ■ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装機械・システムに特化
 ◇高品質・高難易度の包装分野
 ◇チャック付袋包装、ガス充填包装等

主な競合先(ロータリー式包装機メーカー)
 ・東洋自動機(非上場):レトルト物の包装が主力
 ※ナブテスコ連結子会社
 ・古川製作所(非上場):ウェット物・真空の包装が主力

食品機械業界

単位:億円

機種別	販売額
精米麦機械	146
製粉機器	126
製めん機械	110
製パン・製菓機械	1,265
醸造用機械	144
乳製品加工機	593
飲料加工機械	236
肉類加工機械	217
水産加工機械	160
その他食品機械	2,212
合 計	5,214

主な上場企業
 兼業メーカー:レオン自動機、
 鈴茂器工 等

・輸出 7.4%

製菓機械

オサ機械(子会社)
 の区分

前年比
 0.7%増
 5年連続増

(一社)日本食品機械工業会
 「食品機械統計」
 2016年実績

オサ機械:チョコレート製造機械の専門メーカー
 ■創業以来80年以上、蓄積された豊富な経験
 ◇チョコレート製造全般
 ◇国内で高いシェアを占める

主な競合先
 ・谷沢菓機工業(非上場)
 チョコレート製造機械、餅・和菓子製造機械、
 米菓機械

会社概要(2018年7月31日現在)

- 設立 1966年(創業 1961年)
- 資本金 251百万円
- 発行済株式数 1,798,800株
- 売買単位 100株
- 決算期 7月末
- 事業内容 各種自動包装機及び周辺装置の製造・販売
製菓機械の製造・販売
- 従業員数 単体;147名(その他臨時雇用者26名)
連結;175名(その他臨時雇用者37名)
- 事業所 本社・工場、東京営業部、上海事務所
- 子会社 オサ機械、蘇州日技通用包装機械
- 役員 取締役 5名
社外取締役(監査等委員) 4名

証券コード;6267
東証JASDAQ・名証二部

■企業ビジョン

「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現

事業内容

国内市場

海外市場

主要市場:ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の
包装用機械・システム

主要ユーザー

食品業界

化学関連業界

その他

製粉

製麺

精米

製氷

食品全般

健康食品

医療用品

ペットフード

製パン

製菓

削節

製茶

コーヒー

洗剤

種苗

食品業界の各大手上位への
顧客基盤が強い

チョコレート製造機械分野
国内で高いシェアを持つ

高品質・高難易度の包装分野
・チャック付袋包装
・ガス充填包装等

販売経路

直販

窓口

業界上位が中心

特定顧客・業種、中堅・中小等

機器から
プラントまで

販売

直販が中心

生産機械

個別受注生産

チョコレート製造機械

製菓機械等

開発・設計・製造

仕入

包装機械

販売

袋詰用包装機から包装システムまで

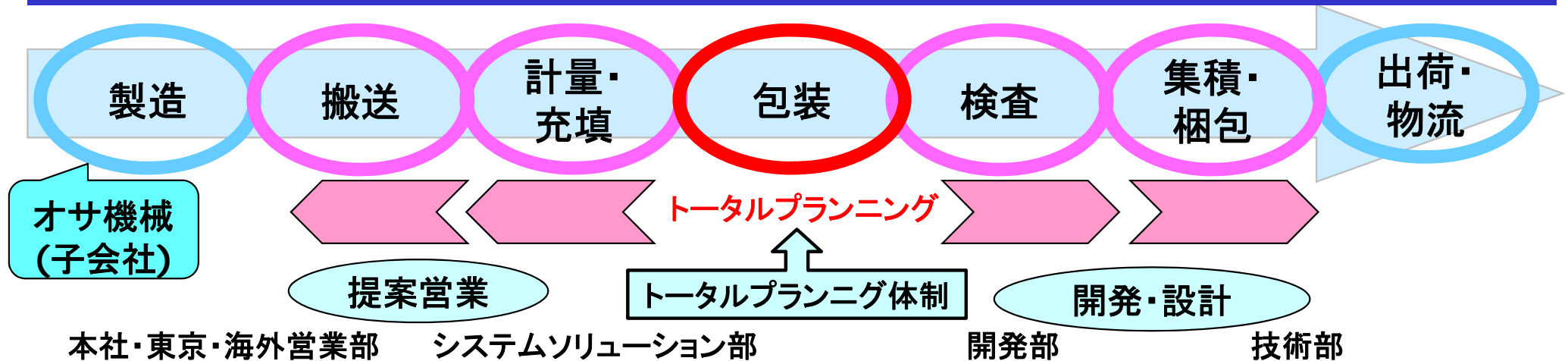
給袋自動包装機(ガス充填自動包装機含む)

製袋自動包装機

包装関連機器等

(経営ビジョン)

オープンイノベーションで応えるソリューションカンパニー



挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

人員推移(単体)

	13/7期末	14/7期末	15/7期末	16/7期末	17/7期末	18/7期末
従業員	124	127	131	135	139	147
(内 開発・技術部人員)	(38)	(40)	(42)	(42)	(43)	(44)
臨時雇用者※	19	16	19	18	23	26
合計	143	143	150	153	162	173
連結人員合計(臨時雇用者含む)					193	212

※パート、嘱託、派遣

包装システムの市場創造型トータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室

〒481-8601

愛知県北名古屋市宇福寺神明65

電話: 0568-23-3111

FAX: 0568-22-3222

E-mail: info@general-packer.co.jp

